

目次

あさがや楽のきわめ……………1

あさがや楽巻頭エッセイ

「ハールセンターのタイムトリップ」青柳いづみこ……………2

BOOK GUIDE 青柳いづみこさんの本棚……………5

阿佐ヶ谷・荻窪界隈の文化人 小説家編

阿佐ヶ谷会のリーダー的存在 井伏鱒二……………6

阿佐ヶ谷・荻窪界隈の文化人 小説家編

無名の若者は荻窪で作家となった 太宰治……………8

WHO'S WHO 阿佐ヶ谷会の仲間たち……………10

阿佐ヶ谷・荻窪界隈の文化人 劇作家編

井伏鱒二、太宰治との出会い 伊馬春部……………14

ASAGAYAI YAI

中学生がえらんだイチオシ本2016……………16

子どもの成長と絵本

「広い世界への旅立ちを応援する」西内ミナミ……………18

執筆者紹介……………22

阿佐ヶ谷の街のシンボルとなっている中杉通りは、昭和二七（一九五二）年、阿佐ヶ谷駅南口より青梅街道まで開通し、昭和二九年に地元商店街の人々によりケヤキが植樹されました。その後、通りは阿佐ヶ谷駅北口へ拡張。現在の姿となっています。近年では、ケヤキの腐朽が見られることから、間伐、剪定が行われました。歴史を継続していくことは、シンボルを後世に残す大切な作業です。

今回の『あさがや楽』では、阿佐ヶ谷図書館のシンボル「阿佐ヶ谷文士村」に焦点を当てました。図書館でも阿佐ヶ谷文士の歴史を持続し、気楽に文士の作品を手にして欲しいと思っています。ケヤキ並木を眺めながら是非図書館へお越しください。

平成二八年二月十一日

阿佐ヶ谷図書館館長 黒谷晴子